

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) a		選択	2	2	後期 (変則)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
増田 洋介	B310	yosuke.masuda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目標>ソーシャルワーク実践を行ううえで必要となる基本的な業務遂行能力 (コンピテンシー) を理解し、習得することを目的とする。</p> <p><概要>教科書の事例等を使い、グループワークやディスカッションによりソーシャルワークの展開過程の基本について理解を図る。また、プレゼンテーションを行うことによって、コンピテンシーを習得する意義についての理解を深めるとともに、学生自らの取り組みを省察できるよう演習を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	ソーシャルワークの価値・知識・技術を前提とするので、関連する他の科目の教科書等も参考に予習をしてください。疑問を抱き教員への質問を積極的に行うことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 7 ソーシャルワーク演習 [社会専門] /編:日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会福祉士に求められる価値規範に基づいた倫理的な判断ができる。		HSU(1)、(2)、HC(1)、(4)、(5)		
②	地域を基盤としたソーシャルワークについて理解し、説明できる。		HSU(2)、(4)、(6)、HC(2)、(3)、(5)		
③	社会福祉士に必要なコンピテンシーについて理解し、説明できる。		HDU(1)、(2)、(3)、HC(1)、(2)、(4)、(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	[オリエンテーション] 授業内容と進め方、学習方法、評価方法等を理解する。自己のコンピテンシーを省察する。	演習	シラバスを精読する。 教科書第 1 章を精読する。	4	
2	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ①] クライアントの気持ちを推考する。	演習	教科書第 2 章 1・2 節を精読する。	4	
3	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ②] インテークの準備をする。	演習	教科書第 2 章 1・2 節を精読する。	4	
4	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ③] クライアント像を情報として整理する (フェイスシート作成)。	演習	教科書第 2 章 1・2 節を精読する。	4	
5	[ケースの発見とエンゲージメント (インテーク) ④] クライアント像を共有する。	演習	教科書第 2 章 1・2 節を精読する。	4	
6	[アセスメント①] 本人のニーズ把握に必要な意思決定支援の方法を検討する。	演習	教科書第 2 章第 3 節を精読する。	4	
7	[アセスメント②] アセスメントシート作成を通じて本人のニーズを把握する。	演習	教科書第 2 章第 3 節を精読する。	4	
8	[プランニング①] 本人のニーズに即した支援内容を検討する。	演習	教科書第 2 章第 4 節を精読する。	4	
9	[プランニング②] 支援計画を実施するための多職種連携について理解する。	演習	教科書第 2 章第 4 節を精読する。	4	
10	[支援の実施とモニタリング①] 支援の結果を評価する。	演習	教科書第 2 章第 5 節を精読する。	4	
11	[支援の実施とモニタリング②] 新たなニーズを踏まえて支援計画を見直す。	演習	教科書第 2 章第 5 節を精読する。	4	
12	[支援の終結と結果評価、アフターケア①] 支援の展開過程を分析する。	演習	教科書第 2 章第 6 節を精読する。	4	
13	[支援の終結と結果評価、アフターケア②] アフターケアについて考える。	演習	教科書第 2 章第 6 節を精読する。	4	
14	[ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシー①] ソーシャルワークに必要なコンピテンシーを考える。	演習	教科書第 2 章第 7 節を精読する。	4	
15	[ソーシャルワークの展開過程とコンピテンシー②] 自己のコアクオリティを省察する。	演習	教科書第 2 章で学んだ内容を復習する。	4	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	40	30	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	5	0	0	25	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	10	15	
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	5	20	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	5	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
レポート	①	✓	1～7 回目の授業内容、8～15 回目の授業内容について、1000 字のレポート課題を出す。計 2 回のレポートから授業内容の理解度を評価する。レポートは Teams にて提出する。				採点して Teams にて返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	グループワークで取り組んだ成果を発表する。グループでどのように取り組んだか、効果的な発表ができてきているかを評価する。				成果発表は学生による評価と教員の評価を勘案して評価する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了後にリアクションペーパーを Teams にて提出する。課題への取り組み状況やグループワークへの参加姿勢などを確認し、評価する。				質問については、授業にて共有する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	社会福祉士資格取得後 7 年の実践経験を有する							
実践的授業の内容	教科書とシラバスに沿って、ソーシャルワークの基本および展開過程について、教員が実践してきた事例（個人、団体等の特定ができないよう加工）を用いるなど、具体的に分かりやすく説明をすることで、学生が科目内容について具体的なイメージをもって理解が深まるように工夫して授業を進める。							
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 社会福祉士国家試験受験希望者は必ず履修すること。 <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われることがある。 							